

平成23年3月2日

## 香川大学瀬戸内圏研究センター庵治マリンステーション編 『瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック』が刊行されました！

このたび香川大学瀬戸内圏研究センターが編集を進めて参りました「瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック」が刊行されました。

干潟の生き物や干潟の役割など、ちょっと知りたい干潟のことについて、カラー写真でわかりやすく解説しています。また、いつでも手軽に持ち運べる「四六判サイズ」になっていますので、課外学習や干潟観察等のフィールドワークはもちろんのこと、干潟散策や潮干狩りでもご活用いただけます。

このハンドブックを小中学生から一般まで幅広い層の方々にご覧いただくとともに、実際の干潟に足を運んでいただき、干潟のすばらしさとその大切さを感じていただくことができれば幸いです。

### 『瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック』

編集：香川大学瀬戸内圏研究センター庵治マリンステーション

一見和彦（瀬戸内圏研究センター准教授）、多田邦尚（瀬戸内圏研究センター副センター長）

発行日：平成23年2月18日

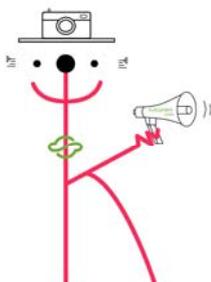
刊行：恒星社厚生閣（東京都新宿区三栄町8）

定価：1,050円（税込）

販売：全国書店、インターネット等

内容：干潟ってどんなところ／干潟の命のつながりを支える植物と微生物（動物プランクトン、海藻・海草など）／バラエティーに富む底生生物たち（ゴカイ類、巻貝、二枚貝、甲殻類など）／岩礁域の生物／干潟生態系の頂点 魚・鳥／干潟を彩る海浜植物

解説・コラム：海草と海藻／ウミニナとホソウミニナ／スナガニの捕まえ方／捕まえたカニはオス？それともメス？／生きた化石ーカブトガニ／くちばし色々／干潟カレンダー／干潟の生物調査法／干潟の浄化作用／生き物が潜る様子を見てみよう／標本の作り方



### お問い合わせ先

- 香川大学瀬戸内圏研究センター いちみ 一見 和彦
- TEL：087-891-3142
- ※上記不在の場合 香川大学 学術室 研究協力グループ 井上
- TEL：087-832-1316
- メール：tikyosenm@jim.ac.kagawa-u.ac.jp

鳥や植物まで干潟の生き物が勢揃いしたカラー写真満載のガイド

新刊

# 瀬戸内圏の 干潟生物ハンドブック

香川大学瀬戸内圏研究センター庵治マリンステーション 編

四六判・96頁・カラー 定価1,050円

瀬戸内海を中心に干潟で見られる貝やカニはもちろん鳥や魚、海岸の植物までいろいろな生き物たちをカラー写真満載で紹介します。課外学習や干潟散策の際に手軽に持っていけるハンドブックです。標本の作り方や様々な実験・調査方法についてもルビつきでわかりやすく解説します。



## 【主な内容】

干潟ってどんなところ／干潟の命のつながりを支える植物と微生物（動物プランクトン、海藻・海草など）／バラエティーに富む底生生物たち（ゴカイ類、巻貝、二枚貝、甲殻類など）／岩礁域の生物／干潟生態系の頂点 魚・鳥／干潟を彩る海浜植物

●解説・コラム：海草と海藻／ウミニナとホソウミニナ／スナガニの捕まえ方／捕まえたカニはオス？ それともメス？／生きた化石ーカブトガニ／くちばし色々／干潟カレンダー／干潟の生物調査法／干潟の浄化作用／生き物が潜る様子を見てみよう／標本の作り方